



令和3年度

学校だより

12月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～

横浜市立岩崎小学校

電話 331-5123

FAX 331-5343

異学年交流の大切さ

校長 小林 雅弘

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され、泊を伴うかたちで、6年の修学旅行と4・5年の宿泊体験学習を無事実施することができました。その他の学年でも校外学習や校内における家庭科の調理実習、図工での共同制作など、これまで見送っていた教育活動が行えるようになり、少しずつこれまでの日常が戻ってきていることをうれしく思います。引き続き、ガイドラインに則り、感染拡大防止の取組は緩めることなく、緊張感をもちながらも子どもたちの学びの場の充実を図っていきたいと考えております。

本校の教育の特色の一つとして「異学年交流」があります。行事や日々の学習などを通して、異なる学年の児童同士が交流する活動です。形態は大きく次の4つがあります。

- ① 1年～6年が各グループにいる「全校縦割り活動」
- ② 低・中・高の「2学年ブロックの活動」
- ③ 1・6年、2・5年、3・4年の「きょうだい学年の活動」
- ④ その他学習内容に応じた異学年の活動

例えばスポーツフェスティバルは②を中心に、1年生の入学時に6年生がサポートする活動は③、宿泊体験学習やクラブ活動は④といったように、内容や時期によって様々な形態を積極的に取り入れ、異なる学年との関わりを大切にしています。



ロン屋たてわり遊び(①)



1・2年校外学習(②)



1・6年交流活動(③)



4・5年愛川体験学習(④)

その中でも一年間を通じて行っているのが、①の「全校縦割り活動」です。年度初めに、1年から6年までがいる9～10名程度の小グループを36グループ作ります。6年生は全員がリーダーか副リーダーとなります。5月の「はじめましての会」で顔合わせをし、その後も地域清掃やたてわり集会などで仲を深めてきました。

11月26日(金)には縦割り活動の中でも最大イベントとなる、保土ヶ谷公園への全校遠足が実施されました。気持ちのよい青空のもと、6年生のリーダーを中心にどのグループも協力し合いながら、長なわとびやジェスチャーゲームなど4つのゲームブースに挑戦していました。本校はキッズクラブにも多くの児童が所属しており、日常的に異学年同士の関わりがたくさんあります。そのため、上学年の児童が下学年の児童を気遣ったり、優しく声をかけたりする習慣が日頃から身に付いています。全校遠足でも、子どもたちのそのようなすてきな姿がたくさん見られました。多くのPTAボランティアの皆様にご協力いただきましたこと心よりお礼申し上げます。

